

世界摂食障害 アクションデイ 2023

～摂食障害とメディアの
良い関係をめざして～

2023年

6月4日(日)

▶ 13:00～16:00

オンライン開催 (Zoom)



プログラム構成

- 1 開会挨拶
- 2 来賓挨拶
- 3 調査レポート
「養護教諭を調査対象とした
コロナ禍での10代摂食障害の影響調査」
- 4 全国に広げる支援体制
～摂食障害治療・支援体制拡充への取り組み～
- 5 2022年度&2023年度の活動報告
- 6 日本摂食障害協会学生部の発足とSNS運用について
- 7 調査レポート
「インターネットやSNSなどの利用について」
- 8 メディア/プラットフォーム事業者による取り組みについて
- 9 総合討論
- 10 閉会挨拶

世界摂食障害アクションデイは、2016年より世界的に始まった運動で、摂食障害で苦しむ方やその家族、専門家や研究者、サポーターらが国境を越えて団結し、摂食障害の啓発と支援活動を世界中で同時に行う「世界摂食障害アクションデイ—World Eating Disorders Action Day—」が今年も開催されます。摂食障害について1人でも多くの方に知っていただくことを目標に掲げ、メディアなどを活用して行動を起こし、全世界で摂食障害に対する意識を高めることを目指します。

コロナ禍を経験した近年、インターネットやSNSを見る時間が増え、「コロナ太り」「ダイエット」などの関連記事や動画が多く公開され、目にする機会も増えました。昨年行った協会の調査でも約62%の方が、「調べた情報を参考に自分で試したことがあった」と回答をしています。

そこで、本年は、「摂食障害とメディアの良い関係をめざして」をテーマに、協会で行った実態調査発表や、プラットフォーム事業者や専門家、メディア関係者と一緒にインターネットやSNSの現状と利用の仕方などを一緒に考えていきます。

参加申し込み方法

対象：当事者、ご家族、支援者、メディア関係者、政策関係者、セルフヘルプグループ、家族会、学校関係者、スポーツ関係者など ※摂食障害に関心がある方、勉強をされたい方など、どなたでもご参加頂けます。
参加費：無料 (要事前申し込み・定員300名・先着順)

一般社団法人日本摂食障害協会のホームページ <https://www.jafed.jp/world-eating-disorders-action-day/>
または右のQRコードよりアクセスしていただき、必要事項をご入力の上、お申込みください。

※定員に達した場合は申し込みを終了させていただきますので、あらかじめご了承ください。

※フリーアドレスやパソコン環境で受信できるアドレスを推奨します。



主催 摂食障害全国支援センター、一般社団法人 日本摂食障害協会

後援：文部科学省、法務省、東京都、大阪府教育委員会、公益社団法人日本医師会、公益社団法人日本栄養士会、公益社団法人日本産婦人科医会、公益社団法人日本産科婦人科学会、公益社団法人日本女医会、公益社団法人日本精神神経学会、公益社団法人日本小児科学会、公益社団法人日本栄養・食糧学会、公益社団法人日本歯科医師会、公益財団法人日本ヘルスケア協会、一般社団法人日本内分泌学会、一般社団法人日本心理臨床学会、一般社団法人日本社会精神医学会、一般社団法人日本女性心身医学会、一般社団法人日本心身医学会、一般社団法人日本臨床心理士会、一般社団法人スローカロリー研究会、一般社団法人日本体育・スポーツ・健康学会、一般社団法人日本体力医学会、一般社団法人日本臨床栄養学会、一般社団法人パーソナルトレーナー協会、一般社団法人美容サロン協議会、一般社団法人ミス日本協会、一般社団法人女性アスリート健康支援委員会、特定非営利活動法人日本栄養改善学会、特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会、特定非営利活動法人日本心療内科学会、特定非営利活動法人日本スポーツ栄養学会、日本摂食障害学会、日本スポーツ精神医学会、ランニング学会、女性スポーツ医学研究会 (順不同・36団体)

お問い合わせ 摂食障害全国支援センター Eメール EDcenter@ncnp.go.jp